2026 年 10月23日

日本交通心理士会会員 各位
日本交通心理学会会員 各位

日本交通心理士会第 23 回八戸大会
大会会長　　太田 博雄
準備委員長　新戸部 洋輔

日本交通心理士会第２３回八戸大会のご案内
－ 第２号通信 －

深秋の候、会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。2026 年度日本交通心理士会第２３回八戸大会のプログラムが決定いたしましたのでご案内申し上げます。

大会の参加申し込みは 11 月 3 日（火）までとなっております。

皆さまの八戸大会へのご参加を、準備委員会一同、心よりお待ち申し上げております。

記

◆ 期日

2026 年 11 月 14 日（土）13：00～18：45／11 月 15 日（日）9：30～12：00（予定）

※ 受付開始は 11 月 14 日（土）12：00～です。

◆ 会場

八戸グランドホテル
　２F「グランドホール」
〒031-0031 青森県八戸市番町 14 番地
会場 HP：https://hachinohegrandhotel.com/
※JR 本八戸駅（八戸線）から徒歩約 8 分

◆ 共催

日本交通心理学会

◆ 懇親会

11 月 14 日（土）18：50～
会場：同ホテル　３F「MIYABI」

◆ 参加申込

大会ホームページよりお申し込みください。

大会 HP： https://jpt2026.com/

【参加申し込み及び参加費の振り込みの締切日は、2026 年 11月 3日（火）です】

なお、参加費・懇親会費は以下の通りです。

大会参加費	日本交通心理士会会員	8,000 円	発表論文集を含みます
	日本交通心理学会会員	10,000 円	
	上記以外の非会員	12,000 円	
論文集（追加分）	心理士会員または学会員	2,000 円	※ 論文集 1 部は参加費に含まれています
	非会員	3,000 円	
懇親会費		9,000 円	

※ 参加費・懇親会費ともに事前のお支払いをお願いいたします。

※ 日本交通心理士会員または日本交通心理学会員以外で参加を希望される方は、会員の方の推薦と大会準備委員会の承認が必要となります。事前にお問い合わせフォームよりお問い合わせください。

（2024 年 8月24日 日本交通心理士会幹事会決定）

※ 振込先

金融機関名称（金融機関コード）	店名（店番号）	預金種目 / 口座番号	口座名義
青森みちのく銀行（0117）	弘前営業部（010）	普通預金	日本交通心理士会八戸大会事務局 準備委員長 新戸部洋輔
		3703964	ﾆﾎﾝｺｳﾂｳｼﾝﾘｼｶｲﾊﾁﾉﾍﾀｲｶｲｼﾞﾑｷｮｸ ｼﾞｭﾝﾋﾞｲｲﾝﾁｮｳﾆﾄﾍﾞ ﾖｳｽｹ

※ 手数料は、お申し込み者ご負担でお願いいたします。

※ 通信欄に、参加者のお名前とご所属をご記入ください。

（団体で一括してお振込いただく場合も、対象となる全ての各個人名を明記してください。）

※ 振込用紙又は銀行振込の控えを当日ご持参ください。引換えに領収書をお渡しいたします。

※ 当日の受付をスムーズに進行するため、事前支払いのご協力をお願いいたします。

※ 納入された参加費及び懇親会費は、大会当日に欠席の場合でも返金いたしません。

※ 参加申込をされ、参加費が未納の場合で大会当日に欠席された場合は、後日、参加費等を請求いたします。予めご了承ください。

※ 大会参加費を事前納入した者が大会に参加しなかった場合は、交通心理士資格の昇格要件や

更新要件としての大会参加回数にカウントされません。
（2026 年 6 月 27 日 日本交通心理学会運営委員会決定）

◆ 大会までの日程

〈研究発表関連〉

~~（１）研究発表エントリー　9月10日（木）まで~~

~~（２）発表論文原稿提出　9月30日（水）まで~~

〈参加申し込み関連〉

（３）大会参加申し込み　11月 3日（火）まで

（４）大会参加費及び懇親会費振込　11月 3日（火）まで

◆ 発表者へのご案内

・ 研究発表の時間は 15 分（論文発表 12 分、質疑応答 2 分、交代 1 分）です。
・ 発表開始 10 分後に 1 鈴、12 分後に 2 鈴、14 分後に 3 鈴を合図としてお知らせします。
・ 発表者は会場に準備しているパソコン（OS：Windows 11，Microsoft365 インストール済）をご使用いただきます。
・ 発表者は 11 月 11 日（水）16：00 までに発表用データを大会事務局までメールでお送りください。ご不明な点などございましたら大会事務局までお問い合わせください。
・ 発表順はプログラムをご覧ください。順番の変更はお断りいたします。

◆ 日本交通心理士大会での発表表彰について

本大会では、優れた研究発表を称える表彰を実施します。当日の研究発表と抄録論文の内容を総合的に評価し、最も優れた発表に「最優秀賞」を、これに次いで今後の発展が期待される発表に「奨励賞」を贈ります。なお、表彰式典は行わず、受賞者へ個別に通知の上、学会ホームページ等で後日発表いたします。発表者皆様の意欲的なご発表を心より期待しております。

◆ 大会についてのお問い合わせ

日本交通心理士会 第 23 回八戸大会事務局　名古屋・蝦名
E-mail：info@jpt2026.com
株式会社ムジコ・クリエイト
〒036-8053 青森県弘前市和泉 1 丁目 3 - 1
電話：0172-28-2727　FAX：0172-28-3382

日本交通心理士会第２３回八戸大会プログラム

【第１日目　１１月１４日（土)】

12:00～13:00　受付

総合司会：夏堀 美優（(株)ムジコ・クリエイト八戸モータースクール）

13:00～13:15　開会宣言：八戸大会会長　太田　博雄　（東北工業大学名誉教授）

挨　　拶：日本交通心理士会会長　瀬川　　誠　　（山城自動車教習所）

挨　　拶：日本交通心理学会会長　志堂寺　和則（九州大学大学院教授）

13:15～15:15　教育講演 ＆ パネルディスカッション

テーマ「交通心理学の理論と実践を豊かにする質的研究を考える」

企画・司会：小菅　英恵（ITARDA：交通事故総合分析センター）

13:20～14:05

【教育講演】

テーマ

「人間を理解するための四次元ポケット～量的・質的研究の魅力と難しさ～」

大谷　亮（(一財）日本自動車研究所）

14:05～14:15

小休憩

14:15～14:55

【パネルディスカッション】

話題提供者 1：岩城　直幸（水原自動車学校）

「質的研究と単一事例実験の共通点・相違点」

話題提供者 2：西郷　悟（飛鳥 DC 川崎株式会社　安全研修センター）

「目の前にいるその人の感情を拾（ひら）う～インタビュー技法と逐語記録～」

話題提供者 3：中西　誠（電脳）

「飲酒運転違反処分者への取り組みから考える質的研究の可能性」

14:55～15:15

討議・質疑応答

モデレーター：大谷　亮（(一財）日本自動車研究所）

15:15～15:30　休憩

15:30～16:30　研究発表Ⅰ　座長：紺野　哲　（学校法人五島育英会　東急自動車学校）

（各発表時間 12 分＋質疑 2 分＋交代 1 分）発表件数 4 件

1）教習生・卒業生の内面変化の解釈的検討（1）

教習の進展を通した指導の受け止め方

○瀧田　臣吾（株式会社湯村自動車学校）

福田　麻衣（株式会社湯村自動車学校）

2）教習生・卒業生の内面変化の解釈的検討（2）

運転経験を通した運転意識の変化と安全運転者としての自立

○福田　麻衣（株式会社湯村自動車学校）

瀧田　臣吾（株式会社湯村自動車学校）

3）初心運転者の交通事故経験後における家族支援と行動変容

―事故後の運転意識の変化と継続的な交通安全学習に着目して―

○柴田　彩子（交通教育；個人）

谷口　嘉男（上野自動車学校）

4）校内体験教育による児童の危険認識の般化可能性

○千田　まゆ（黒井交通教育センター秋田南支部）

大谷　　亮　（(一財）日本自動車研究所）

16:30～16:45　休憩

16:45～17:45　研究発表Ⅱ　座長：重松　宏昭（アイルモータースクール交通教育センター）

（各発表時間 12 分＋質疑 2 分＋交代 1 分）発表件数 4 件

1）路線バス発車時における「ながら確認」の分離が安全確認行動に及ぼす影響

―安全喚起発話・安全確認・運転操作の時間的重複に着目して―

○直井　晋一（東京都交通局自動車部）

高　　東暎（早稲田大学）

加藤　麻樹（早稲田大学）

2）外国人バス運転士育成における交通文化の翻訳と指導法（実践報告）

～日本語能力試験 N2 保持者への実践教育を通じた言葉の壁の分析と指導法～

○船曳　晃司（神姫バス株式会社）

須和　憲和（神姫バス株式会社）

3）バス発進時のリアオーバーハング接触事故防止に向けた実技研修の検討

―危険認知と安全確認行動の観点から―

山野内　嘉昭（大阪シティバス株式会社）

4）事業用バス運転士における事故件数と運転行動特性の関連
―車間距離に着目した探索的検討―
北尾　剛（西日本ジェイアールバス株式会社）

17:45～17:55　休憩

17:55～18:45　総会

18:45～18:50　会場移動

18:50～20:30　懇親会　八戸グランドホテル　３Ｆ　MIYABI

【第２日目　１１月１５日（日)】

9:00～ 9:30　受付

9:30～10:30　研究発表Ⅲ　座長：梅澤　雅（飛鳥 DC 川崎株式会社）
（各発表時間 12 分＋質疑 2 分＋交代 1 分）発表件数 4 件

1）交通安全技術協力プロジェクトへの交通心理学の適用可能性（第 1 報）
－カンボジア交通安全プロジェクトの分析に基づく能力開発モデルの提案－
○大野　学（株式会社アルメック）
伊藤　嘉康（命の共育社Ｂｅ８）

2）高齢者講習受講者における両眼視野角度と年齢・性別の探索的検討
○ 東　勇介（学校法人五島育英会 東急自動車学校）
小菅　英恵（ITARDA：交通事故総合分析センター）
紺野　哲（学校法人五島育英会 東急自動車学校）

3）後悔を活用した安全教育プログラム開発への試み 第 3 報
○和田　徹（黒井産業（株）黒井交通教育センター廿日市支部）
奥山　祐輔（黒井交通教育センター本部）
森安　裕之（黒井産業（株）黒井交通教育センター廿日市支部）
田中　嘉洋（黒井産業（株）黒井交通教育センター廿日市支部）
世羅　周二（黒井産業（株）黒井交通教育センター廿日市支部）
太田　博雄（東北工業大学）

4）心理的リアクタンスの抑制に配慮した教育プログラムの開発

〇加藤　裕哉（黒井産業㈱黒井交通教育センターKURO-TEC 本部）

奥山　祐輔（黒井産業㈱黒井交通教育センターKURO-TEC 本部）

今橋　哲也（黒井交通教育センター廿日市支部）

10:30～10:50　　休憩

10:50～11:50　　研究発表Ⅳ　座長：西郷　悟（飛鳥 DC 川崎株式会社）

（各発表時間 12 分＋質疑 2 分＋交代 1 分）発表件数 4 件

1）感情識別能力と危険運転行動の関連

三好　壱成（八戸ノ里ドライビングスクール）

2）トラック運転者における睡眠と不安全運転の関連について

布施谷　賢司（関東交通共済協同組合）

3）職業ドライバーを対象とした認知機能の日間変動に関する探索的検討

〇浅田　克子（八尾自動車教習所・NPO 高齢者安全運転支援研究会）

横尾　則広（NPO 高齢者安全運転支援研究会）

4）目的地直前における安全意識に関する探索的研究

―組織的背景の定性的理解を添えて―

原田　秀香（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社）

11:50～12:00　　閉会の辞：第 23 回八戸大会準備委員長　新戸部　洋輔

（株式会社ムジコ・クリエイト）